

## キリストのからだとしての召会のビジョン、実行、建造

(木曜日——午前の第二の部)

メッセージ 2

### 召会に対する神の定められた御旨 (2)

神の多種多様な知恵を召会を通して展覧することによって、神の敵を征服する

聖書：エペソ 3:10. I コリント 1:30. エゼキエル 1:26-28

I. わたしたちは、恵みにより、信仰を通して救われて、神の傑作となりました。この事を通して、神の多種多様な知恵は、天上にある支配たちや権威たちに知らせられました——エペソ 2:10. 3:10 :

- A. 「傑作」のギリシャ語は、「ポイエマ (poiema)」であり、その意味は、「作られたもの」、「手のわざ」、「詩として書かれ、あるいは作文されたもの」です。
- B. 詩的な文章だけでなく、作者の知恵と構想を表現するどんな芸術作品も、詩と考えられます。わたしたち、召会、神の働きの傑作は、神の無限の知恵と神聖な構想を表現する詩です。
- C. わたしたち、召会、神の働きの傑作は、宇宙における全く新しい項目、神の新しい発明です (2:15)。わたしたちは、再生を通してキリストの中で神によって創造され、彼の新創造となりました (II コリント 5:17) :
  - 1. 神の傑作は、全く新しいものです。なぜなら、それは、神と人とのミングリングであるからです。彼の傑作、彼の最も偉大な作品は、彼ご自身を人の中へと造り込み、人を彼との一の中へと構成し込み、召会を生み出すことです。
  - 2. 召会は、神の知恵を語り出す神の詩です。エペソ第 3 章 10 節によれば、神の多種多様な知恵は、召会を通して知らされます。
  - 3. 詩歌は、詩歌の作者の知恵を表現します。来たるべき時代において、すなわち、千年期と永遠において、一つの独特な詩歌、すなわち、召会があり、それは神の知恵と構想を表現します。
  - 4. わたしたちは新エルサレムを見るとき、この驚くべき産物において現された美しさ、知恵、構想のゆえに、神をほめたたえるでしょう。新エルサレムは、神の詩、神の傑作となります。

II. 「あなたがたがキリスト・イエスの中にあるのは、神によるのです。このキリスト・イエスは、神からわたしたちに与えられた知恵、すなわち、義と聖別と贖いとなりました」—— I コリント 1:30 :

- A. キリストは、神からわたしたちに与えられた知恵とされ、神の救いにおける三つの極めて重要なものとなりました。義 (わたしたちの過去のため)、それによって、わたしたちは神によって義とされました。それは、わたしたちが霊において再生されて、神聖な命を得るためです (ローマ 5:18)。聖別 (わたしたちの現在のため)、それによって、わたしたちは魂において聖別されつつあります。すなわち、わたしたちの思い、感情、意志において、彼の神聖な命によって造り変えられつつあります (6:19, 22)。贖い (わたしたちの将来のため)、すなわち、わたしたちの体の贖

いです (8:23)。それによって、わたしたちは体において、彼の神聖な命によって変貌させられ、彼の栄光の様を持つようになります (ピリピ 3:21. I ヨハネ 3:2)。

B. 義、聖別、贖いは、わたしたちの過去、現在、将来と関係があるだけではありません。日ごとにわたしたちは、義、聖別、贖いとしてのキリストを必要とします：

1. わたしたちがキリストの中へと信じたとき、神はわたしたちをキリストの中へと入れました。その時、キリストはわたしたちに与えられた知恵と「なられました」。

「神からわたしたちに与えられた」という表現が示しているのは、伝達があり、それは現在のもの、実際的なもの、経験的なものであるということです。キリストに、継続して神からわたしたちへと流れていただき、わたしたちの経験において、わたしたちの現在の実際的な知恵となっていていただくべきです。

2. I コリント第 1 章 30 節の知恵は、ヨハネ第 14 章 6 節の道と等しいです。義、聖別、贖いは、わたしたちのクリスチャン生活の高速道路を建築することに用いられる材料です：

a. わたしたちは、わたしたちの霊を活用して、主の御名を呼び求めるとき、義となります——ローマ 10:12-13. II テモテ 2:22。

b. 日々、時々刻々、わたしたちは魂の中で、自己の中で生きるべきではなく、霊の中で生き、霊を活用して、主イエスの御名を呼び求めるべきです。このようにして、わたしたちは義となるだけでなく、聖別され、俗であるものから分離され、自分自身が俗的になることから分離されます。

c. 贖いは、三つの事柄を含んでいます。すなわち、終結、置き換え、神へと戻されることです。神はわたしたちを贖うとき、わたしたちを終結させ、わたしたちをキリストをもって置き換え、わたしたちを彼ご自身へと戻します。これが造り変えの実際の過程であり、その中でわたしたちの古い要素、わたしたちの古い構成は、終結させられ、そして新しい要素、新しい構成、すなわち、復活におけるキリストご自身をもって置き換えられます。

III. 神の御座の周囲の虹もまた、キリストが神からわたしたちに与えられた知恵、すなわち、義と聖別と贖いとなられたことを表徴します——啓 4:3. エゼキエル 1:26-28：

A. 虹の三つの主要な色は、青色 (サファイアの御座の色であり、神の義を表徴します——エゼキエル 1:26. 詩 89:14)、赤色 (聖別する火の色であり、神の聖を表徴します——エゼキエル 1:4, 13, 27. ヘブル 12:29)、黄色 (光輝くこはく金の色であり、神の栄光を表徴します——エゼキエル 1:4, 27. ヘブル 1:3) です：

1. 神の義、聖、栄光は、三つの神聖な属性であり、罪人が神に近づくことができないうようにします——創 3:24：

a. 殺すための剣は、神の義を示します (参照、哀 3:42-43. ローマ 2:5)。炎は、神の聖を表徴します (申 4:24. 9:3. ヘブル 12:29)。ケルビムは、神の栄光を表徴します (参照、エゼキエル 9:3. 10:4. ヘブル 9:5)。

b. 神のこれらの属性は、罪深い人に要求をしました。罪深い人はこれらの要求に応じることができなかつたので (ローマ 3:10-18, 23)、命の木としての神に接触することができませんでした。ついにはキリストが十字架上の彼のすべてを含む死によって、神の義、聖、栄光の要求を満たして、一つの新しい生きた道

を開き、わたしたちが至聖所へと入って、命の木としてのキリストにあずかることができるようにしてくださいました（ヘブル 10:19-20. 啓 22:14）。

2. キリストは、十字架上で死んで、神の義、聖、栄光の要求を満たしました。そして、復活させられて、わたしたちの義、聖（聖別）、栄光（贖い）となりました——創 3:24. I コリント 1:30. ローマ 8:23.
3. 義と聖と栄光との虹によって表徴されるキリストご自身は、神が彼の民に与えた契約です——イザヤ 42:6. ヘブル 8:10-12.
4. キリストは、神からわたしたちに与えられた知恵であり、彼ご自身をわたしたちの中へと伝達して、義（わたしたちが霊の中で再生されるため）、聖別（わたしたちが魂において造り変えられるため）、贖い（わたしたちが体において変貌させられるため）となります——I コリント 1:30. ローマ 8:10. 12:2. 8:23. エペソ 5:25-27.
5. 永遠において、わたしたちは新エルサレム（この都の土台は虹のような外観を持っています——啓 21:19-20）として、一つの虹となって、神の信実を証しし、彼の新契約を遂行します。この新契約はわたしたちを義、聖、栄光としての彼と全く同じにならせます。これは、神の多種多様な知恵としてのキリストを、わたしたちを通して全宇宙に展覧します——10-11 節.
6. この虹の霊的实际は、今日の召会の中で現されるべきです。わたしたちは、神に完全な機会を与えて、聖の火としてわたしたちの中で働いていただくことによって、神に彼の義の臨在をもってわたしたちを満たしていただき、わたしたちを通して彼に栄光の光輝を得させる必要があります——I コリント 1:30.

B. 虹は、契約を守る神の信実のしるしであり、もはや死の裁きがないことを表明します。わたしたちは、新しい契約の下で生きなければならず、どんな失敗、弱さ、暗やみ、消極的な事物をも信じてはなりません。わたしたちは、契約のある民です。わたしたちは、あらゆる状況に応じる約束の一節を持っています——哀 3:22-23. ローマ 8:1. II コリント 12:9. II テモテ 1:10. 2:1. ユダ 24 節. I ヨハネ 1:9. I コリント 1:9.

IV. キリストが、神からわたしたちに与えられた知恵、すなわち、義と聖別と贖いとされたことと、彼の全体的な救いにおいて、わたしたちを通して、神の多種多様な知恵としての彼ご自身を現すことは、エペソ第 5 章 25 節から 27 節においても見られます：

- A. エペソ第 5 章 25 節は、キリストが召会を愛して、彼女のためにご自身を捨てたと言います。これは、わたしたちの贖い主としてのキリストです。彼は、神の法理的な贖いを完成して、神の義の要求を満たします。それは、わたしたちが彼の中で神の義となるためです——II コリント 5:21.
- B. エペソ第 5 章 26 節は、キリストが召会を聖化し、言葉の中の水の洗いによって召会を清めると言います。これは、命を与える霊としてのキリストです。彼は、わたしたちの中で神の有機的な救いを遂行して、彼の有機的な聖別によってわたしたちを聖くします——1:4. 啓 21:2.
- C. エペソ第 5 章 27 節は、栄光の召会をキリストがご自身にささげると言います。これは、わたしたちの花婿としてのキリストです。彼は、命を分与する栄光化の中で、

わたしたちの体を贖うことを通して、栄光の召会としてのわたしたちを彼ご自身にささげます——ローマ 8:23。

**V. 召会を通して、神の多種多様な知恵は支配たちや権威たちに知らされ、敵は征服させられます——エペソ 3:10 :**

- A. 神が人を創造したのは、第一に人が神のかたちを持って、神を表現するためであり、第二に人が神の権威を持って、神の敵を対処し、神を代行するためでした(創 1:26)。召会は、神の子たる身分を得るようあらかじめ定められました。また、召会を通して神の多種多様な知恵を知らせることによって敵を征服するよう運命づけられました。
- B. もし宇宙にそのような邪悪な者がいなければ、神の知恵は現される必要がなかったでしょう。サタンによってもたらされるすべての問題を通して、神はご自身の知恵を展覧する機会を持ちます——歴代下 1:10. 参照、コロサイ 2:2-3。
- C. サタンからやって来るあらゆる損害は、神がご自身の知恵を展覧する良い機会です。問題があればあるほど、主の知恵を展覧するさらに多くの機会があります。
- D. 主イエスは、反対するユダヤ人の宗教家たちに、「この宮を壊しなさい。そうすれば、わたしは三日のうちにそれを起こす」と告げました(ヨハネ 2:19)。彼らが壊したことは、壊されたものよりもさらに大いなるものを建造する機会を主に与えることになりました。
- E. 建造された召会は、神の目標であり、また敵の標的でもあります——マタイ 16:18. 参照、啓 1:11-12。
- F. 聖書は、はっきりと、また徹底的に啓示しています。すなわち神が過去の世代に行っていた事、今も依然として行なっている事、将来も行なう事は、わたしたちにおいて彼の子たる身分を完全に達成し、そして敵を征服し、蛇を追い出すことです。これは、召会を通して、また召会によって行なわれます。
- G. 子たる身分に関しては、わたしたちはその過程の中にいます。敵を征服することに関しては、わたしたちは戦いの中にいます。
- H. 主の目には、また召会生活を生きるわたしたちの経験においては、サタンはすでに打ち破られています——ヨハネ 14:30. I ヨハネ 3:8. ヘブル 2:14. ローマ 16:20。
- I. わたしたちは悲しむ必要はありません。わたしたちはいつも喜び、主を賛美しているべきです。なぜなら、敗北でさえ、さらなる勝利を得るための準備であるからです。究極的に、聖書は、特に啓示録は、勝利の書であって、敗北の書ではありません——5:1-14. 11:15. 12:10-11. 14:8. 19:1-7. 20:10, 14. 21:2, 6. 22:20。